

# あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり

2022/9/8 横須賀市教育委員会



9月号

策定に関わった方の思い「学校からの視点・その1」

前号に続き、計画の策定に関わった「横須賀市教育振興基本計画策定検討委員会」の皆さまそれぞれの「横須賀の目指す教育の姿」への

思いや、検討を振り返ってお寄せいただいたコメントをご紹介します。

## 梅谷 尚子 委員

小学校校長会代表  
(森崎小学校校長)



### 横須賀の教育を誰もが 語れるように

自律という言葉に代表されますが、子ども自身が自分自身を強くする力が必要だと考えています。学習指導要領にも、粘り強さや自己調整する力という言葉がありますが、やはり、自分を律していく力がとても大事だと思います。

学校では外国につながるのある子や、登校に困難を抱える、なかなかなじめない子にどのように関わるかということも、重要な課題です。自分を育てることとともに、多様な価値観を認めることの必要性を感じます。

ふるさと意識、横須賀が好きであるという意識も育みたいと考えます。

私たち教師は、「横須賀の教育はこうである」と、誰もが語れるようでありたいと思います。

横須賀の教育は、「ふるさとを大事にしている」「粘り強い子を育てている」あるいは、他者への関心、物事への関心など、関わりを持つことを大事にしていることを語れるような教育振興基本計画であったら良いと思います。

### 理念に対してぶれることなく、まい進を

この会議に参加し、いろいろな意味で勉強させていただきました。私は初等教育に携わる立場として、目指す教育の姿の語順は「私が好き」が最初ではないかと申し上げましたが、その議論の経過を計画に残すなど、意見を上げていただき、感謝しています。

また、「誰もが語れるように」と最初に述べましたが、言葉には奥行きがあり、その部分を私たちがどう伝えていくかが、とても大切なことだと思っています。

計画を立てるときはワクワクするものですが、計画にあるさまざまな具体的な施策を、私たちが学校で実践しながら、振興計画をしっかりと具現化することに努めたいと思います。そして、理念に対してぶれることなく、学校教育にまい進していきたいと思っています。

### 大事なものは脈々と引き継いでいきたい

学校教育が大きく変わる中で、私自身、「明治維新の頃に生きていた人はこんな気持ちだったのかな」と思うことがあります。

GIGAスクール構想により1人1台端末が導入され、分からない言葉や世界の中を日々生きていると感じます。しかし、大事なものは、時代が変わっても脈々と引き継がなければならないと痛感しています。

## 松浦大翼 委員

前 三浦半島地区教職員組合副委員長  
(逸見小学校総括教諭)



### 教育は学校だけで終わらない

学校、家庭、地域の連携が必要と考える中で、目指す姿を「子ども像」とすると、どうしても学校に重点が置かれると感じていました。

生涯学習の観点で考えると、小学校、中学校を過ごした後も教育は続きますので「子ども像」というより「人間像」とする方が、横須賀市の教育というかたちでは、当てはまると感じます。

### 3つの「好き」は相互関係

横須賀の目指す教育の姿の3つの「好き」は、それぞれが相互に関係していると思います。例えば、「横須賀で暮らしている私が好き」「あなたが好きだから、もっと私が好きになった」というように、この3つはさまざまな方向性で、つながり合うものだと考えます。

### 計画を机上の空論にせず、具体的な施策を

私は学校の教職員、教職員組合の副委員長、そして横須賀で子どもを育てる親という3つの視点をもってこの会議に参加し、意見を出させていただきました。

コロナ禍で休校となり、学校教育がフォーカスされ、世間が学校の在り方に興味を持ち、目を向けてくれた時期に、この計画の策定に関わることができ、とても勉強になりました。

学校では、GIGAスクール構想が推進され、1人1台端末が入り、子どもたちは非常にうれしそうに活動しています。

最近ではデジタル教科書も全小学校に配置されるようになり、目まぐるしく変わっていく学校教育に対応するため、各学校の教職員は四苦八苦している状況です。

計画は策定されましたが、作って終わりではなく、柔軟な見直しを続けていく必要があります。教職員の業務の見直しや人手不足といった課題も山積していますが、横須賀市としては子どもの数が減少しているという社会的な課題もあると思います。

この教育振興基本計画を机上の空論にせず、具体的な施策に生かしていただければと思います。

次号「策定に関わった方の思い  
(学校からの視点・その2)」へ続く

## Topic

### 指導の目標・指導の重点

教育振興基本計画（実施計画）の「8つの柱」を基に、児童生徒を指導する上で学校が取り組むべき目標とその内容を「指導の目標」として設定しています。また、「指導の目標」を踏まえ、学校と教育委員会が重点的に取り組むべきことを「指導の重点」として設定しています。

各学校は「指導の目標」および「指導の重点」を基に、教育活動の改善・充実に組織的・計画的に取り組むこととしています。



／ 詳細はHPへ ／

